

アシスト、全社的な情報活用を支援する BI プラットフォーム「WebFOCUS」の新バージョン 8.2 を提供開始

～ポータル機能含む大幅な機能拡張により、あらゆる人のデータドリブンな意思決定を推進～

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、URL:<https://www.ashisuto.co.jp/>、以下、アシスト)は、日本国内で総販売代理店を務める BI プラットフォーム「WebFOCUS」(開発元:米 Information Builders, Inc.)の新バージョン 8.2 を本日より提供開始します。新バージョンでは、「コラボレーション」、「ビジュアライゼーション」、「オートメーション」という3つのキーワードで全社 BI プラットフォームである WebFOCUS の機能を大幅に拡張しています。

WebFOCUS は製品のリリース以来、「オペレーショナル BI」※というコンセプトのもと「だれでも、いつでも、どこでも情報が活用できる BI プラットフォームの提供」を目指して時代とともに進化を続けており、国内 1,250 社以上(2017年12月現在)、海外を含めると1万社以上の企業に採用されています。

※「オペレーショナル BI」はアシストの登録商標です。

今回提供を開始する新バージョン 8.2 では、ポータル機能が大幅に強化され、ユーザーが得た知見や洞察を WebFOCUS のポータル上で素早く共有することで、あらゆる人のデータドリブンかつ迅速な意思決定を支援可能となりました。

バージョン 8.2 の主な強化ポイントは以下の通りです。

(1) コラボレーション

情報の共有、情報に基づいた活発なコミュニケーションを支援

- ・ユーザー間でページやコメントの共有が可能になり、ユーザー間のやり取りを WebFOCUS 上で実現(図1)
- ・「データで確認しよう」という、気づきを与えることでユーザーの BI 利用を促進
- ・ポータル上での情報共有により BI 利用の敷居が下がり、ユーザー層の拡大を推進
- ・ドラッグ & ドロップで自分好みのダッシュボードを簡単に作成可能なため、ポータルの利用意欲を促進



図1: コメントの共有

(2)ビジュアライゼーション

データの視覚化によりユーザーの意思決定を支援

- ・ユーザーフレンドリーなインターフェースによりユーザー自身でデータを視覚化
- ・データの絞り込みや除外、関連付けにより見たい情報を素早くクローズアップ(図 2)
- ・手持ちデータをアップロードし分析データとして活用することで、BI 利用を促進
- ・地図情報と連携したマップアプリケーションやチャートエクステンションが追加され、表現力が大幅に強化

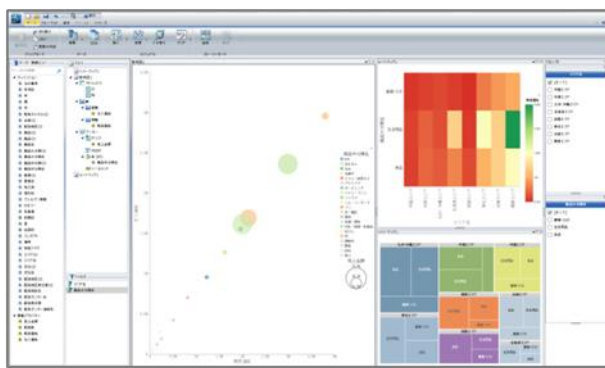


図 2:情報のクローズアップ

(3)オートメーション

メタデータの整備、ユーザーへのデータの提供を支援

- ・メタデータのデータ属性や階層構造が自動で定義され、業務に沿ったメタデータを容易に提供
- ・メタデータやアップロードデータからデータを情報に変えるサンプルコンテンツを自動生成(図 3)
- ・メタデータに対するセキュリティ設定により、ガバナンスを効かせた最適な権限委譲を実現



図 3: サンプルコンテンツの自動作成

今回のバージョンアップにより、最適化された情報をユーザーに提供するための導線を自由にデザインできるようになりました。これまで以上にユーザーが参加しやすい BI プラットフォームとして、顧客への提案を進めていきます。

■WebFOCUS について

WebFOCUS は、汎用性、柔軟性、拡張性といった特性を活かし、全社的な情報活用の最適化と定着を支える BI プラットフォームです。社内の経営層やアナリスト、現場の業務担当者のみならず、社外の顧客やパートナーまで、あらゆるユーザーによる情報活用を実現します。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報担当:田口、竹内

TEL:03-5276-5850 URL:<https://www.ashisuto.co.jp/contact/press/>

■「WebFOCUS」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト 東日本技術本部 情報基盤技術統括部 担当:宇野

TEL:03-5276-3653

URL:<https://www.ashisuto.co.jp/webfocus/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。